Google Workspace for Education クイックスタート IT 設定ガイド



この資料の目的:パートナーや IT 管理者向けの Google Workspace for Education 導入学校の迅速なセットアップのための導入方法ガイド





はじめに



Google for Education で学び、未来を育む

教育と学習を大規模に変革するためのツール を構築しました。今日、教育者とIT 管理者 は、児童生徒がどこにいても一緒に学習でき るようになります。 生産化ツール いつでもどこでも使用できる

Google Workspace for Education

デバイス パワフルな性能でシンプル

o chromebook

授業 学習に命を吹き込む

🛃 Google Classroom



全体のエコシステム 30 以上の製品と85 以上のイニシアチブ





Google Workspace for Education は Gmail、Classroom、 ドキュメント、ドライブ、Classroom などを含んだ無料のコミュ ニケーションおよびコラボレーションツールです。

Chromebook は教室に対応したタブレットやクラムシェルま たはコンバーチブルデバイスなど、さまざまなフォームファク タを提供し、教室特有のニーズに対応します。

Chromebook App Hub は教育者と Chrome 検証済みの開 発者をつなぐため、教師は有用なコンテンツのライブラリを学 年、科目、教育目標ごとに閲覧できるだけでなく、他の教師 から新しい教室での活動に関するヒントを見つけることがで きます。

組織全体の管理に役立つ ツールセット

- 管理者向けの高度なコントロール
- 強化された分析および検索機能
- ビジネス仕様のビデオ会議ツール「Google Meet」



Google Workspace for Education と Chromebook は厳格な基準への準拠をサポートしています



FERPA (Family Educational Rights and Privacy Act: 家庭教育の権利とプ ライバシーに関する法律)



Software & Information Industry Association(米国ソフトウェアおよび情報 産業協会)



ISO/IEC 27018:2014 (データ保護規格) COPPA (Children's Online Privacy Protection Act of 1998: 児童オンラインプ ライバシー保護法、1998年)



Future of Privacy Forum(FPF: プライバ シーの未来フォーラム)が提唱する Student Privacy Pledge(生徒のプライ バシーに関する誓約)



お申し込み方法のご案内



Google Workspace for Education

使ってみましょう

Google Workspace for Education は、特定の要件を満たした教育機関 を対象に無料で提供されています。

教育機関用のアカウントを作成して、無償版(Google Workspace for Education Fundamentals)の 30 日間の試用を開始する手順をご案内 します。

試用期間中、生徒や教職員の方々に、これまでとは違う方法で協働学 習や効率的な指導を行えるツールをお試しいただけます。なお、この 間に貴校の利用資格を確認させていただきます。試用版のお申し込み を終えたら、ご連絡先のメールアドレス宛てに届いているメールをご 確認ください。そのメールには、ドメインの所有権を証明する手順と 利用資格を証明する手順が記載されています。ご利用が承認される と、完全なアクセス権が付与され、組織内のユーザーのアカウントを 作成できるようになります。 Google Workspace for Education (<u>https://goo.gl/xrvzJ9</u>)にアクセス



次へ





xxx.schoolname.com などの URL を記入
生徒と教職員の数を選択

			F	
•	貴校・貴所の所在地と電話番号 を入力	国と電話番号を入力 ・貴校の所在地(国)と電話番 号の入力	3	組織の住所を入力 ^{郵業番号}
	<u></u> 賞校・買所の電話冊号 ● ▼ 次へ			町村、番地 番地 2 次へ

住所を入力

都道府県

・貴校の郵便番号、都道府県、
 所在地詳細の入力

ご連絡先をお知らせください。	メールアドレスを入力		ドメイン所有情報
Google からの連勝を受け取れるよう、定期的に確認するメールアドレスを入力し てください。 発 	・受信できるメールアドレス を 入力	貴校・貴所のドメイン所有に関 する情報 ^{学校用のメールと Google Workspace for Education アカウントを設定するには、 example edu のようなドメインが必要です。⑦ 使用できるドメインがある}	 ・[使用できるドメインがある >既にご準備されているドメイ Google Workspace for Educ をご利用する場合 ・[ドメインを購入] >新規でドメインを購入し、購
			たドメインでGoogle Workspa Education をご利用する場合
最校・貴所のドメイン名を入力 ^{x・貴所がこのドメインの所有者かどうか確認する方法を払ってご無内しま ③}	ドメイン名を入力 ・既にお持ちのドメイン名を	9 このドメインを使ってアカウン トを設定しますか?	ドメイン名を確認 ・使用するドメイン名を確認



Google Workspace for Education 申し込み完了!



お申し込み手続きを完了すると、Google Workspace for Education を 30 日間試用できるようになりま す。(試用期間中は 10 ユーザーまでの制限があります)。Google Workspace for Education を引き続 きご利用になる場合は、できるだけ早く次の手順を行っていただく必要があります。

- 1. まず、ドメインの所有権を証明します。これによって Google サービスのドメインを他のユーザー が許可なく使用していないことが確認されます。
- 2. Education へのアップグレードのお申し込みが自動的に送信されます。 Google Cloud サポート チーム(esupport@google.com)からのメールをご確認のうえ、ご返信ください。

設定の手順



5つの簡単なステップで設定する

アカウントを作成

- 1. <u>Google Workspace for Education</u>に申し込む
- 2. ドメインを所有している場合:<u>ドメインの所有権を証明</u> する

2

組織構造を決定

<u>組織構造のしくみ</u>

3

ユーザーアカウントを作成

• <u>ユーザーの追加方法</u>

Google for Education

サービスを有効無効にする

4

5

- 1. <u>Gmailとカレンダー</u>を無効にする(迅速なセットアップにお勧め)
- 2. <u>Google Meet の高度な機能</u>を使用する
- 3. 教師と生徒に <u>Classroom へのアクセス</u>を許可する

Google Workspace for EDU: 登録方法

- 1. ユーザーの<u>パスワード設定</u>を管理する
- 2. 高等教育機関のアカウントのみ *: パスワードのリセット方法を設定 する



<u>クイックスタート IT 設定ガイド</u>

*幼稚園から高校までのGoogle Workspace for Education ユー ザーは、自分のアカウントに再設定用の電話番号やメールを追加す ることはできないため、忘れたパスワードを自分でリセットすることは できません。

1 - 2 - 3 - 4 - 5

ドメインの所有権を 証明する

最適なオプション:ドメインの購入 サインアップしたときの Google パートナー Google Workspace 向け。

それが不可能な場合にのみ、検証プロセスを通じて

- TXT、CNAME、または MX レコードを使用する(ドメインの DNS 設定)。
- メタタグをウェブサイトにアップロードします。
- HTML ファイルを Web サイトにアップロードします。

TXT 確認レコードを追加する(任意のドメインホスト)

注:この手続きは、確認レコードを取得した管理者が完了まで行う必要があります。確認レコードは管理者ごとに異なるため、ドメインの所有権の証明は、同一の管理者が開始、完了する必要があります。

すべて開く | すべて閉じる

1. 確認レコードを取得する

確認レコードは設定ウィザードか Google 管理コンソールで取得できます。

設定ウィザードでレコードを取得する

Google サービスのお申し込みが完了したら、セットアップ ウィザードに沿って、ドメインの所有権の 証明を含むアカウント設定を進めます。

[ドメインの所有権の証明とメールの設定]ページでリンクをクリックし、利用中のドメインホストのログインページを開くカプションが表示されない場合は、別の方法を選択をクリックし、[ドメインホストレコードを追加(TXTまたはCNAME)]を選択します。

- 2. ドメインホストにログインします。
- 3. 設定ウィザードで、次のチェックボックスをオンにします。
- ・ [ログインできました]
- ・ [自分のドメインのコントロール パネルを開きました]

4. [新しい TXT レコードを作成します] で、[値 / 応答 / 参照先] 欄の内容をコピーします。これによ り、確認レコードの値がコピーされます。

	I have opened the control panel for my domain.	
	Add a new TXT record to your domain.	

組織構造を決定





ユーザー アカウントを 作成

- 1. <u>マニュアル</u>
- 2. <u>CSV ファイルから追加する</u>
- 3. AD Sync: GCDS / GADS
- 4. <u>API</u> 管理
- 5. <u>GAM</u> ツール



1 - 2 - 3 - 4 - 5

サービスを有効/無効 にする

- <u>Gmail</u>と<u>カレンダー</u>を無効にする(迅速なセットアップ にお勧め)
- 2. <u>Google Meet の高度な機能</u>を使用する
- 3. 教師と生徒に Classroom へのアクセスを許可する

コアサービス に含まれるもの:Gmail、カレンダー、連絡先、ド ライブ、Google Meet、Keep、サイト、グループ、Vault、 Classroom、Jamboard、Chrome Sync

≡ Google Admin アプリ > G Suite すべての組織部門でアプリのステータスを表示しています G G Suite □ サービス ↑ サービスのステータス このアカウントのすべてのユーザー Classroom オン (すべてのユーザー) グループ Gmail オン (すべてのユーザー) 組織部門 Google Chrome 同期 オフ 0 Google Meet オン (一部のユーザー) 組織部門を検索 JP EDU Demo X Google Vault オン (一部のユーザー) グーグル第一中学校 Google サイト オン (一部のユーザー) ▶ グーグル第一小学校 Hangouts Chat グーグル第三中学校 オン (一部のユーザー) グーグル第二中学校 C Hangouts Meet と Google ハングアウト オン (一部のユーザー) Jamboard Service オン (すべてのユーザー) Keep オン (すべてのユーザー) Tasks オン (すべてのユーザー) カレングー +> (**** m == #=)

1 - 2 - 3 - 4 - 5

基本的なセキュリティの 設定

- 1. <u>パスワードを設定</u>
- 2. <u>パスワードのリセット方法を設定</u>(高等教育機関のア カウントのみ)

安全なパスワードを作成してアカウントのセキュ リティを強化する

安全なパスワードを作成して再設定用の情報を更新することで、Google アカウントを保護できます。

ステップ1:安全なパスワードを作成する

安全なパスワードは次のことに役立ちます。

- 個人情報を安全に保管する
- ・ メール、ファイル、その他のコンテンツを保護する
- 他人がアカウントにアクセスできないようにする

パスワードの要件に準拠する

8 文字以上のパスワードを作成しましょう。半角英字、数字、記号(ASCII 標準文字のみ)を組み合わせ ることができます。アクセント記号やアクセント記号付き文字は使用できません。

次のようなパスワードは使用できません。

- ・ 安全性が著しく低いパスワード(「password123」など)
- ・ お使いのアカウントで以前に使用したことがあるパスワード
- ・ スペースで開始または終了するパスワード

安全なパスワードを作成するためのヒント







•

アプリと拡張機能 の管理



•

セキュリティ(構成)

	<u>–</u> د	ザーとブラウザの設定	7	デバイスの設定	管理対象
	+ フィルタを追加、	または検索			
		セキュリティ			
		パスワード マネージャー ローカルに適用 マ □ ⑤ ●	常にパスワード マネージャー	の使用を許可する 👻	
		ロック画面 ローカルに適用 - ロ	画面のロックを許可しない マ 画面ロックが無効になっています。 デバイスは代わりにログアウトし	. [アイドル設定] のいずれかの設定によって画面がロッ ます。	ウされている場合
		ロックのクイック解除		- フィンボープリント	
Chrome Ø	Dセーフ ブラウジ	シング			
セーフ ブ ローカルに	ラウジング 適用 ▼	常にセーフ ブラ	ウジングを有効にする	▼ ₹.	

•

セキュリティ(ハードウェア)

外部ストレージデバイス 組織のユーザーがChrome デバイスを使用して、USB フラッシュドライブ、外付けハードドライブ、光学式ストレージ、Secure Digital(SD)カード、その他のメモリカードなどの外付けドライブをマウントできるようにする。

オーディオ入力: 組織のユーザーがウェブサイトにChrome デバイスの内蔵マイクから音声入力へのアクセスを許可できるようにする。

音声出力: 組織内のユーザーがChrome デバイスでサウンドを再生 できるようにする。この設定は、内蔵スピーカー、ヘッドフォンジャッ ク、HDMI および USB ポートに接続された外部デバイスを含む、 Chrome デバイスのすべてのオーディオ出力に適用される。

ビデオ入力: ウェブサイトがChrome デバイスのウェブカメラにアクセ スできるように設定する。

ハードウェア	
外部ストレージ デバイス	SD カード、USB フラッシュ ドライブ、MTP デバイス。
ローカルに適用 	外部ストレージ デバイスを許可する 👻
オーディオ入力(マイク)	マイクとオーディオ入力
ローカルに適用 👻 🖵 🎯	毎回ユーザーに許可を求める 👻
オーディオ入力が許可され た URI	
た GRL Google のデフォルトに設定し 旦 🎯	許可する URL パターン(各行に 1 つずつ入力)
	プロンプトの表示なしにオーディオ入力デバイスへのアクセスが許可 ブドメインが含まれるようドメインの前に [*.] を付けます。
音声出力	スピーカーとオーディオ出力
ローカルに適用 -> ロ	オーディオ出力を有効にする 👻
ビデオ入力(カメラ)	ビデオ入力を有効にする 👻
ローカルに適用 👻 🖵 🌀	

リソース



リソース





ありがとうございました。